サイエンスコミュニケータ養成実践講座 受講者によるディスカバリートーク

本事業は、サイエンスコミュニケータ養成実践講座の受講者が、自身の研究内容について来館者に紹介する、講座の成果発表会です。

実施日：2026年8月4日（火）時間：10:45～

時間	テーマ	概要
10:45 ～ 11:05	『見せる』だけじゃない、動物園の知られざるお仕事	知ると動物園をもっと楽しめる！動物園が持つ役割と展示に隠されたお仕事を、実例を交えてご紹介します。
11:10 ～ 11:30	透明な生き物は、どうやって透明に？	自然界にいる透明な生き物はどのようにして透明になっているのでしょうか？その仕組みを探ります！
11:35 ～ 11:55	ニワトリ精子！たまごへ向かう旅を追え	ニワトリの精子はどのように卵（らん）と出会うのだろう？精子に含まれるタンパク質に注目して受精の不思議をお話しします。
12:00 ～ 12:20	生命を“創り”、生命を知る	生命とは何か。この大きな問いに、生命を“創る（つくる）”ことで挑む合成生物学について紹介します。
12:25 ～ 12:45	「古生物の研究」とは？	絶滅した生物の生態はどのように推定されるのか？科博の展示を用いた研究例を交えながら紹介します！
休憩(50分)		
13:35 ～ 13:55	海底で化石を作る～沈んだクジラが「化石」になるまで～	化石はどうできるのか？水深20mの海底で、クジラが「化石」になる過程を追う研究をご紹介します！
14:00 ～ 14:20	顕微鏡で富士山のマグマだまりが“見える”！？	火山の地下のマグマのようすってどうやって知るの？富士山の石からわかることを例にご紹介します！
14:25 ～ 14:45	科学の力でまだ見ぬ花を咲かせる	遺伝子を“あやつる”技術を使った植物の品種改良について、最新の研究や安全性とあわせて紹介します。
14:50 ～ 15:10	植物の形を操る？ファイトプラズマのはなし	ファイトプラズマって何だろう？植物を操る微生物のひみつと最新研究を紹介します！
15:15 ～ 15:35	鳥を通して考える、生物と都市の緑の関係	身近な緑の持つ役割とは？鳥をきっかけとして都市に住む生物と緑地の関係について紹介します。
15:40 ～ 16:00	空飛ぶ粒と観測の世界	東京の西側、自然豊かな研究室からお届けする「大気の粒」のお話。謎を解くカギは日々の観測にありました。

実施日：2026年8月5日（水）時間：10:45～

時間	テーマ	概要
10:45 ～ 11:05	ビタミンKの知られざる力	ビタミンKという名前を聞いたことありますか？そんなビタミンKのいろんな機能ついてお話しします！
11:10 ～ 11:30	生命の最小単位である、細胞の老化を探る	老化細胞を見比べてみると、同じように見えていた老化細胞にも違いがあることが見えてきます。
11:35 ～ 11:55	からだの中の細菌と免疫のふしぎな関係	私たちの体の中に住む細菌たちと、それを見守る「免疫」のふしぎな関係についてご紹介します！
12:00 ～ 12:20	脳の小さな記憶工場～神経の謎を追え！～	長期的に残る記憶は神経細胞の中で、面白い変化が起こります！そんな神経細胞の面白さに迫ります！！
12:25 ～ 12:45	ケガと同じように神経も治るってほんと？	脳の神経は傷が付くと治らないが手足の神経は治ります。その違いや神経が治る仕組みについての研究のお話をします。
休憩（50分）		
13:35 ～ 13:55	お茶碗片手にアフリカ行こうか	アフリカ大陸最西端、セネガルの米農家さんとの交流を通して、“生産性”について一緒に考えてみませんか。
14:00 ～ 14:20	宇宙から田んぼを調べる！リモートセンシングのひみつ	人工衛星の写真はただの写真じゃない！？地球を調べる「リモートセンシング」のひみつを紹介します！
14:25 ～ 14:45	見えないものを見る―分析技術と質量分析	普段は目にすることのない分析技術。質量分析を中心に、私たちの暮らしや健康との関わりをお話しします。
14:50 ～ 15:10	加速器の世界－粒子をあやつる巨大なシステム－	加速器ってどんな装置？知られざる加速器のしくみと魅力をご紹介します。
15:15 ～ 15:35	すき間の中から広がる世界	薄い結晶のすき間に原子を詰めていく。無限の組み合わせから生まれる、新しい材料づくりの世界を紹介します。
15:40 ～ 16:00	水のふしぎ～界面で変わる水のカタチと機能～	同じ水なのに姿がちがうのはなぜ？ヒトの目では見えない“界面”の世界をのぞき、暮らしを作り、変える材料に迫ります。

参加方法

定員：40名程度（先着順）　場所：地球館3階講義室
対象：どなたでもご参加いただけます（内容は小学校高学年以上に合わせた内容です。）
受付：会場入り口で随時行います。予約、事前申込は出来ません。
＊発表途中での入退室はなるべくご遠慮くださるよう、お願いいたします。

＊予定している内容・時間はあくまで目安です。
変更となる場合がありますので、ご了承ください。

問い合せ先：国立科学博物館 学習課 SC担当　sc@kahaku.go.jp